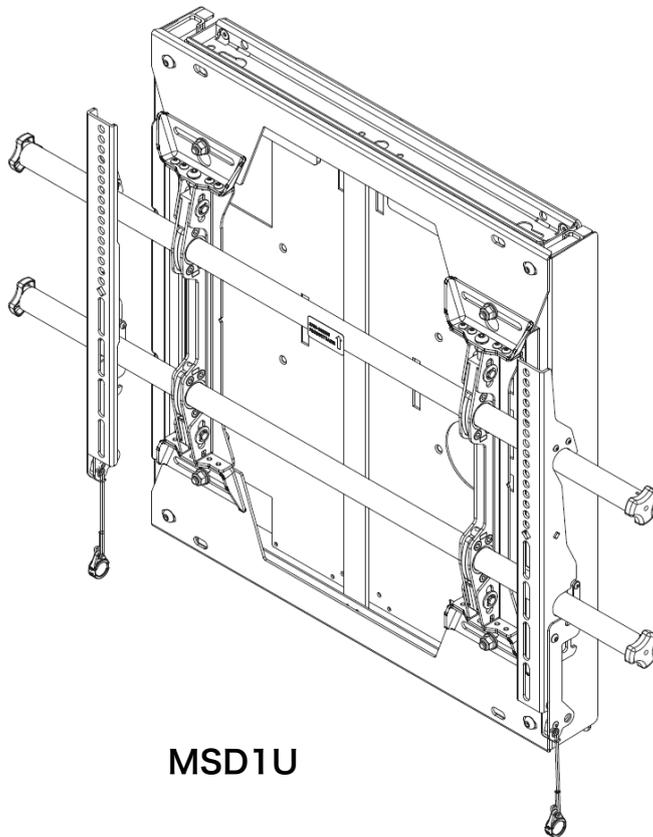


取扱説明書

CHIEF®

A brand of  legrand®

壁掛けディスプレイマウント 型番：MSD1U



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、取付場所の強度には機器本体含むディスプレイおよび金具類の合計重量の少なくとも5倍に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
- 作業は必ず2名以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。
- 壁面の構造や材質によっては補強さんや補強板をいれるなどして適切な施工方法を採用してください。

安全上のご注意

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生の可能性のある内容を示しています

- 警告**：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。
- 警告**：取り付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。
- 警告**：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。
- 警告**：ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。またケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。
- 注意**：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設置の前に**■設置場所について**

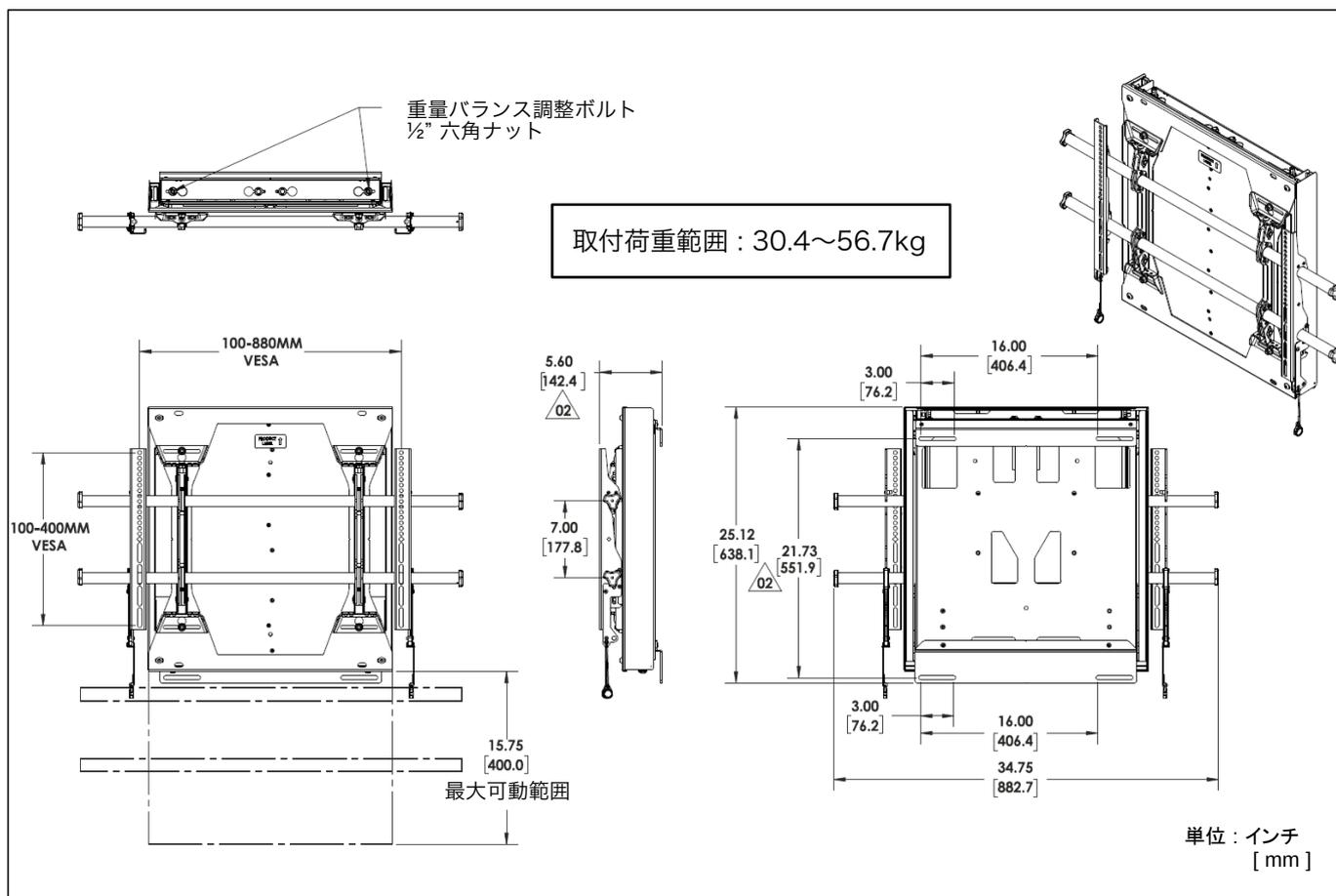
- 本製品とディスプレイを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、ディスプレイと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、設置する壁面の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造物で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行わないでください。幅木や受け木に直接固定しないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの壁面に取り付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

1. 各種の壁に対応したアンカー類やネジ等は、十分な強度を持ったものをご用意ください。
2. 本取扱説明書の安全上の注意の設置場所についてよくお読みのうえ、ディスプレイの壁面への適切な設置場所を決めてください。
3. 図に従って壁面への適切な下穴処理やアンカー固定を必要に応じて行ってください。
4. 壁面の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。
5. 壁面マウントを壁面にしっかりと取付けてください。壁面マウントの取付穴上下各2ヶ所以上にバランスよく施工してください。

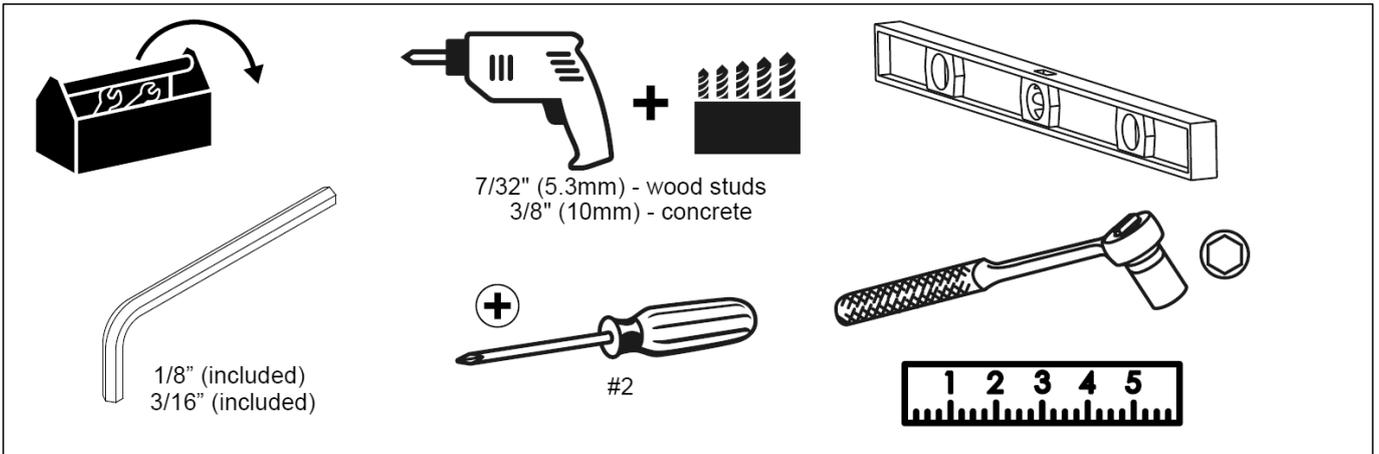
■各寸法図



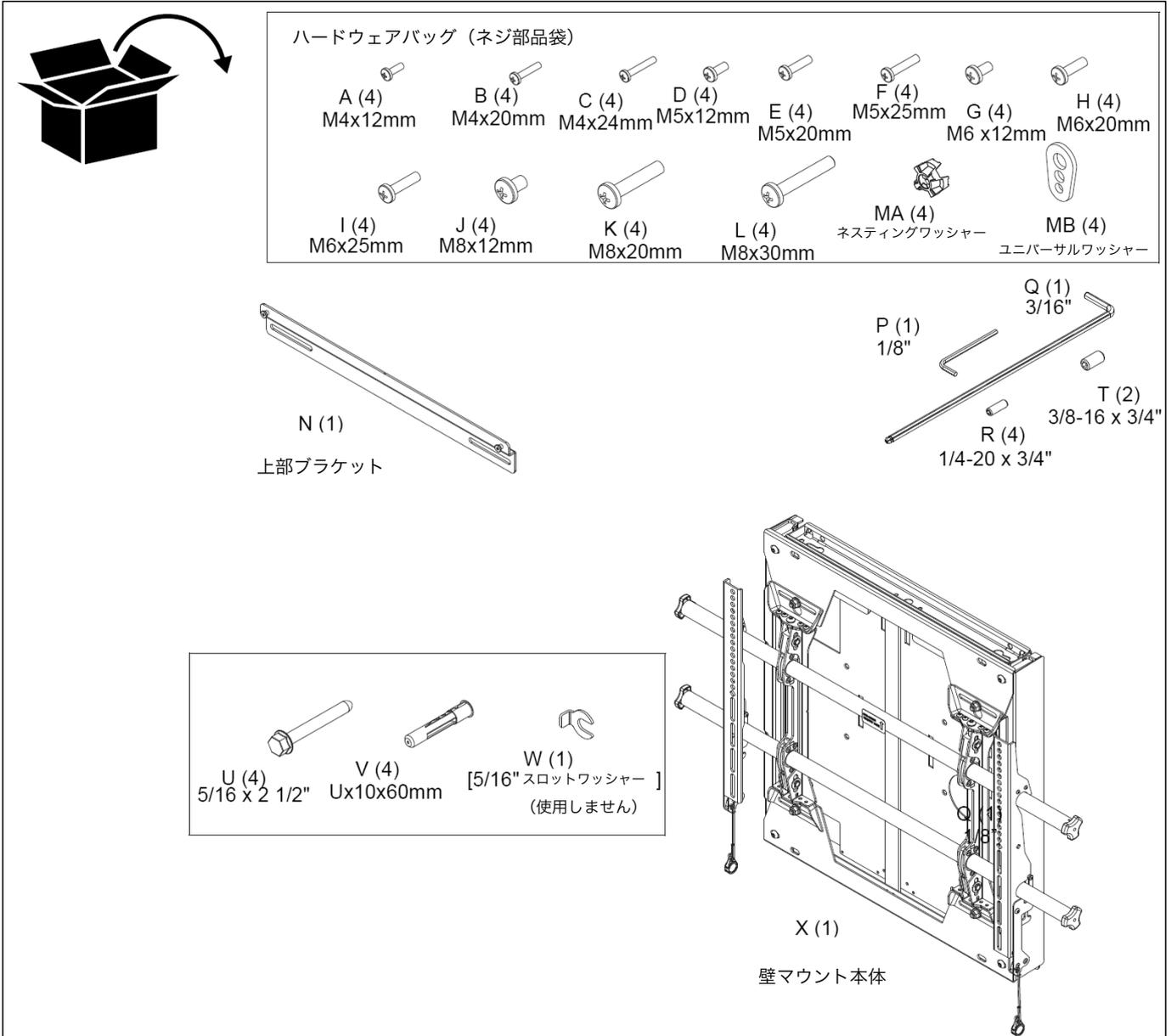
- ・本製品のディスプレイの取付荷重範囲は 30.4~56.7kg です。
取り付けるディスプレイおよびアクセサリ類の合計重量がこの荷重範囲に入っていることを確認してください。
取付荷重範囲を逸脱しますと、バランスの釣り合いがとれなくなり、任意の位置で静止することができません。

組立手順

■本体の組立に最低限準備いただく工具



■本製品の封入物



・下記の内容物が全て同梱封入されているか、ご確認ください。

■組み立て手順

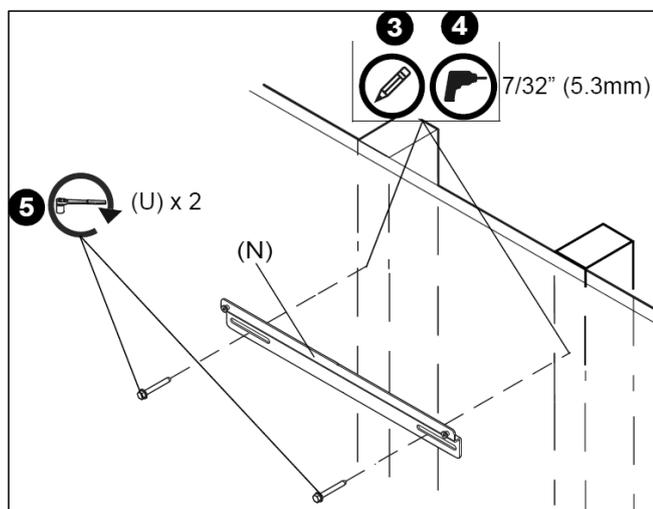
■壁面にマウントを取り付ける

⚠ 重要！：組立て前に必ず寸法図を確認してください。
取付けるディスプレイのサイズにより取付部品の場所などが変わる可能性があります。

メモ：施工業者の責任において、本製品（37.0kg）
と取り付ける全ての製品の重量の5倍に耐えられる
よう適切な工法にて壁材の補強をしてください。
本製品の最大取付荷重は、56.7kg（125lbs）です。

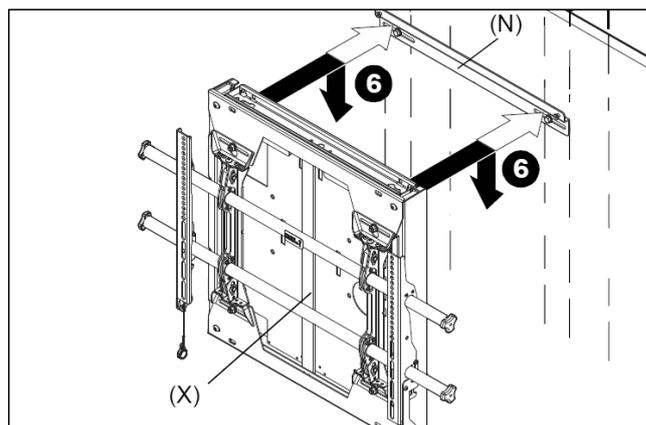
木製スタッド壁への取り付け

1. テレビ画面の中心と、壁のどこに配置するかを決定します。
2. 上部ブラケット（N）を、画面の中心から290mm上の目的の取り付け位置の壁に配置します。
水平器を使用して、マウントの水平位置を確保します。（図1を参照）
3. 各スタッドの中央にある各取り付け位置に穴の位置をマークします。（図1を参照）
4. マークされた穴の位置に2箇所5.3mmφの穴を開けます。（図1を参照）
5. 2箇所の5 / 16 x 2 1/2インチ六角頭キャップネジ（U）を、上部ブラケットの穴と壁のドリル穴に取り付けます。（図1を参照）



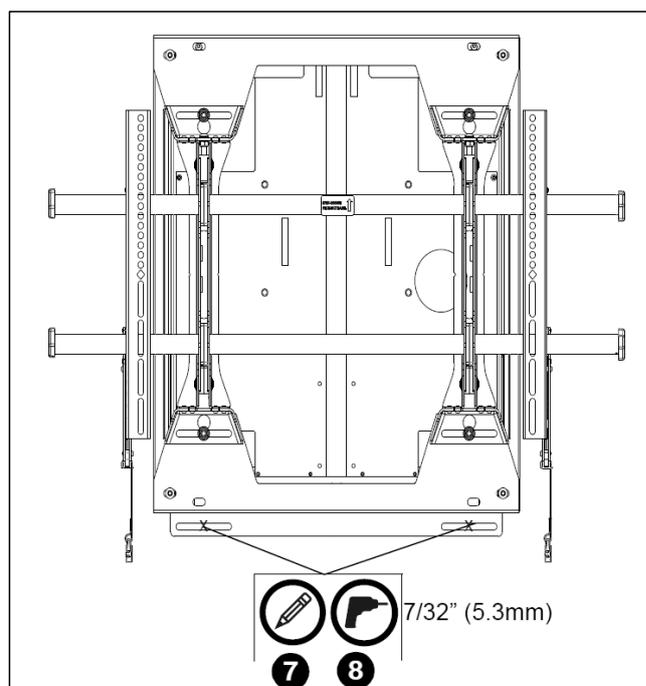
【図-1】

6. ブラケットのサムナットの上にマウントのティアドロップ取り付け穴を配置して、壁マウント（X）を上部ブラケット（N）に掛けてください。（図2を参照）



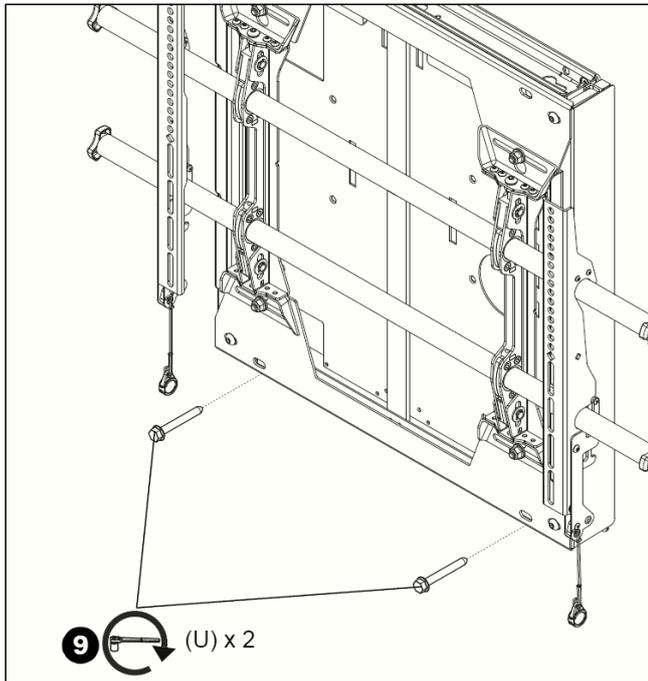
【図-2】

7. 下部の2箇所の取り付け穴の位置に印を付けます。（図3を参照）
8. マークされた穴の位置に2箇所の5.3mmφの穴を開けます。（図3を参照）



【図-3】

9. 2本の5/16 x 2 1/2インチ六角頭キャップネジ (U) を、マウントの下部取り付け穴から壁のドリル穴に取り付けます。(図4を参照)



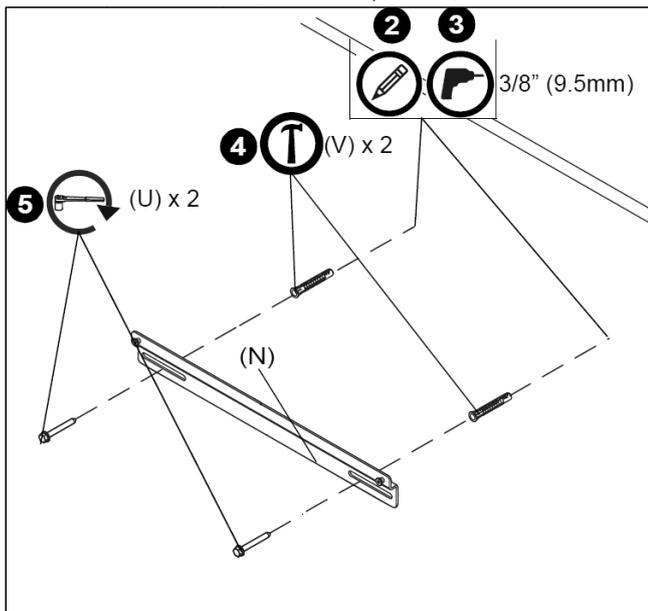
【図-4】

■コンクリート壁への取り付け

1. 上部ブラケット (N) を、画面の目的の中心から11.4" 上の目的の取り付け位置で壁に配置します。レベルを使用して、水平に取り付けられるようにします。(図5を参照)

2. 各取り付けスロットの中央近くの各取り付け位置に穴の位置をマークします。(図5を参照)

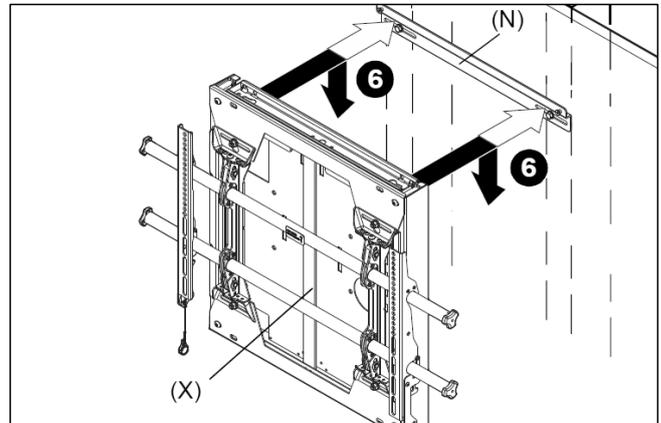
3. マークされた穴の位置に2つの3/8インチの穴を開けま



【図-5】

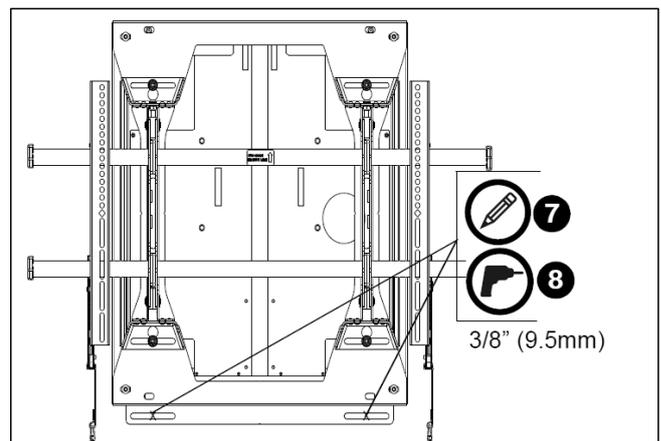
4. ハンマーを使用して各パイロット穴にアンカー (V) を取り付け、アンカーが壁と同じ高さであることを確認します。(図5を参照)

5. 2つの5 / 16x 2 1/2インチ六角頭キャップネジ (U) を、上部ブラケットの穴と壁のドリル穴に取り付けます。(図5を参照)



【図-6】

6. ブラケットのサムナットの上にマウントのティアドロップ取り付け穴を配置して、壁マウント (X) を上部ブラケット (N) に掛けます。(図6を参照)

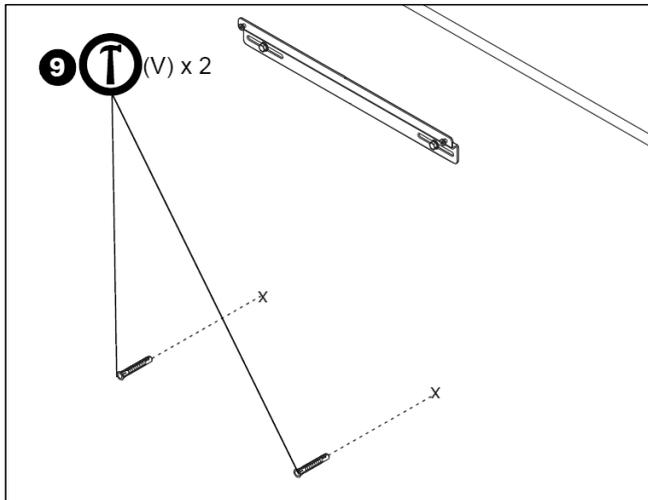


【図-7】

7. 下部の2つの取り付け穴の穴の位置に印を付けます。(図7を参照)

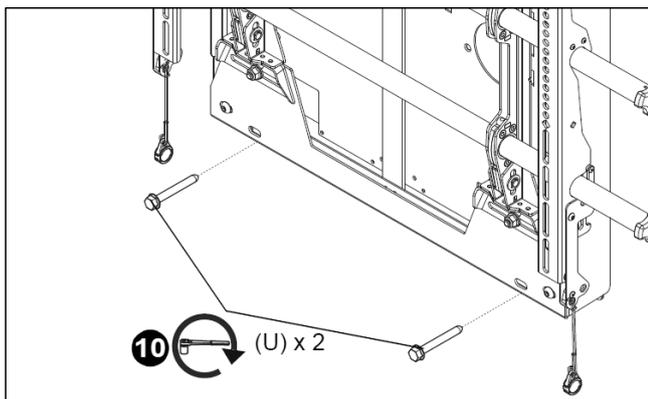
8. マークされた穴の位置に2つの3/8インチの穴を開けます。(図7を参照)

9.上部ブラケットからマウント (X) を取り外し、ハンマーを使用して各パイロット穴にアンカー (V) を取り付け、アンカーが壁と同じ高さであることを確認します。(図8を参照)



【図-8】

10.壁マウントを上部ブラケットに掛けて戻し、2本の5/16 x 2 1/2インチ六角頭キャップネジ (U) をマウントの下部取り付け穴からコンクリートアンカーに取り付けます。(図9を参照)



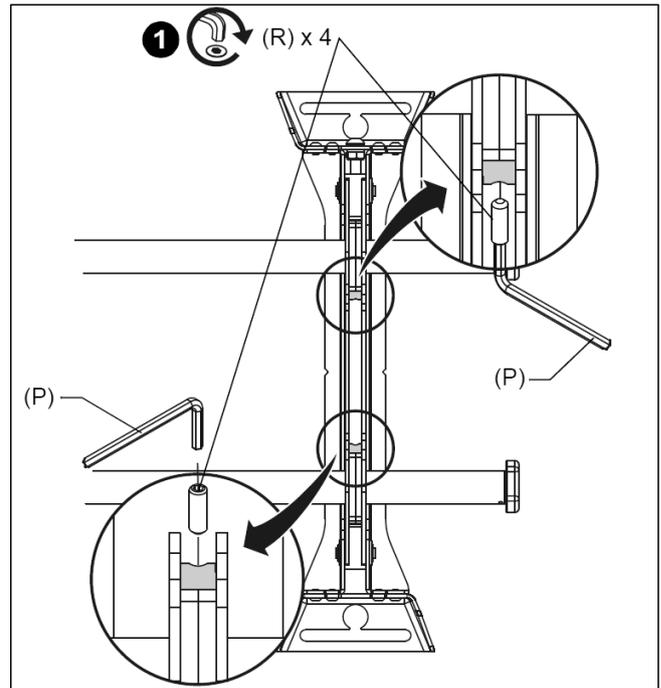
【図-9】

■レールのロック (必要に応じて)

1.マウントアップライト (X) の2つの1 / 4-20 x 3/4 "止めネジ (R) と1/8"六角レンチ (P) を使用して、レールを所定の位置にロックします。(図10を参照)

2.直立した残りのマウントについて繰り返します。

注：上部レールに上部止めネジを簡単に取り付けるには、止めネジ (R) を六角レンチ (P) に配置し、回して締めながら穴に送り込みます。

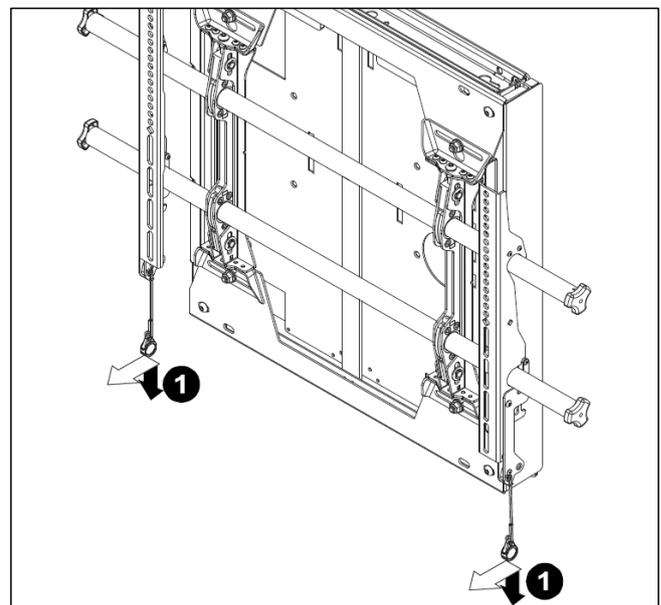


【図-10】

■画面へのインターフェースブラケットの取り付け

1.を引き下げて、レールからインターフェースブラケットを取り外します。

コードを引っ張りながら手前にレールから引き離します。(図11を参照)



【図-11】

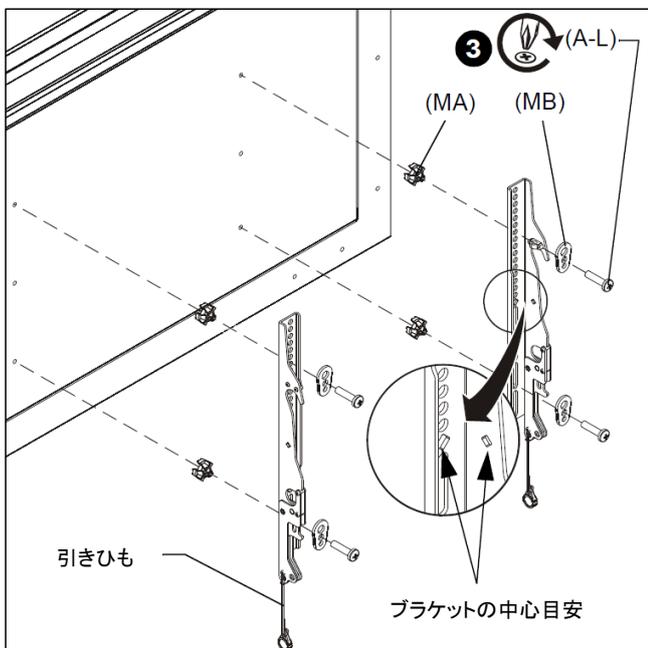
2.取り外したブラケットの中心を画面の中心に合わせます。(図12を参照)

⚠ 注：ブラケットのひし形穴は、マウントの中心に対応しています。

⚠ 警告：不適切な設置は、落下の原因となり、重大な人身傷害または機器の損傷を引き起こす可能性があります。

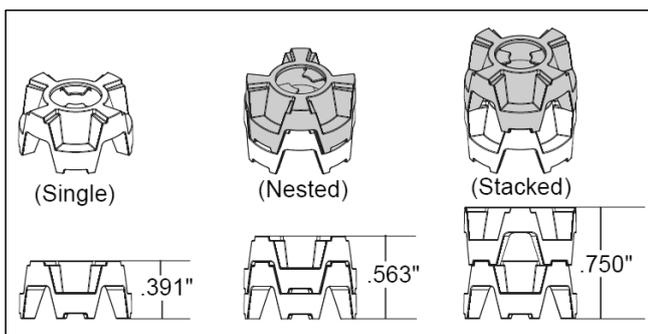
不適切なサイズのネジを使用すると、ディスプレイが損傷する可能性があります。適切なサイズのネジは、ディスプレイの取り付け穴に簡単かつ完全にねじ込まれます。スペーサーが必要な場合は、必ず同じ直径の長いネジを使用してください。

3.ハードウェアバッグ (A-M) からディスプレイに合った径のネジ、ネスティングスペーサー (必要な場合)、およびユニバーサルワッシャーを選択し、ブラケットを画面の背面に取り付けます。(図12を参照)



【図-12】

⚠ 注：ネスティングスペーサー (MA) は、別々に使用することも、2つを異なる構成で組み合わせて異なるサイズのスペーサーを作成することもできます。(図13を参照)



【図-13】

■ディスプレイをウォールマウントに取り付ける

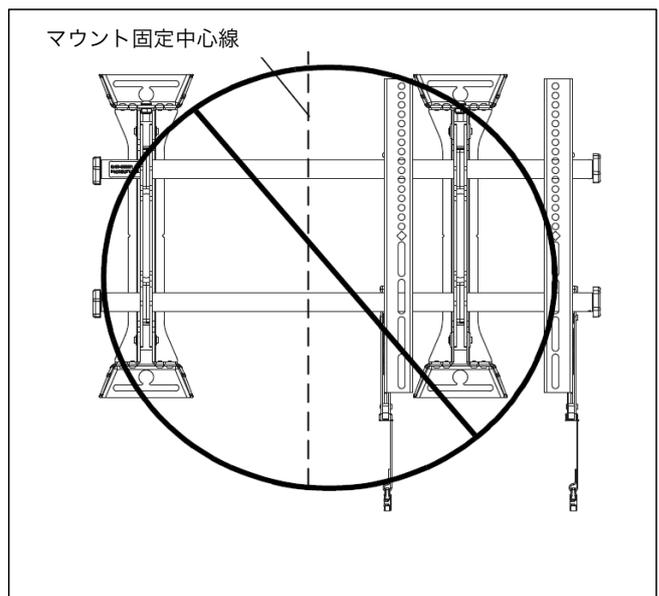
⚠ 警告：耐荷重を超えると、重大な人身傷害または機器の損傷につながる可能性があります。

設置者の責任においてディスプレイおよびそれらを含むMSD1U本体ユニットに取り付けられているすべてのアクセサリとコンポーネントの合計重量が、以下の表に記載されている特定の重量範囲内にあることを確認してください。

重量が以下の範囲内でない場合、このマウントの高さ調整機能は正しく機能しません。

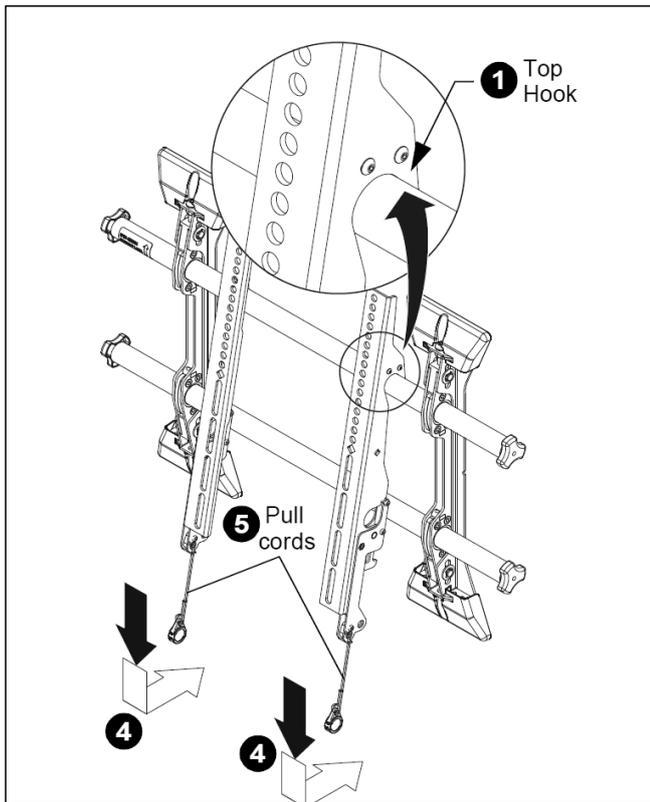
機種名	取付可能荷重範囲 (kg)
MSD1U	30.4 ~ 56.7kg

⚠ 注：両方のインターフェースブラケットを壁取り付け中心線の片側に配置しないでください！(図14を参照)



【図-14】

1. インターフェイスブラケットの上部フックをマウント (X) の上部レールにぶら下げて、画面を吊るします。(図15を参照)



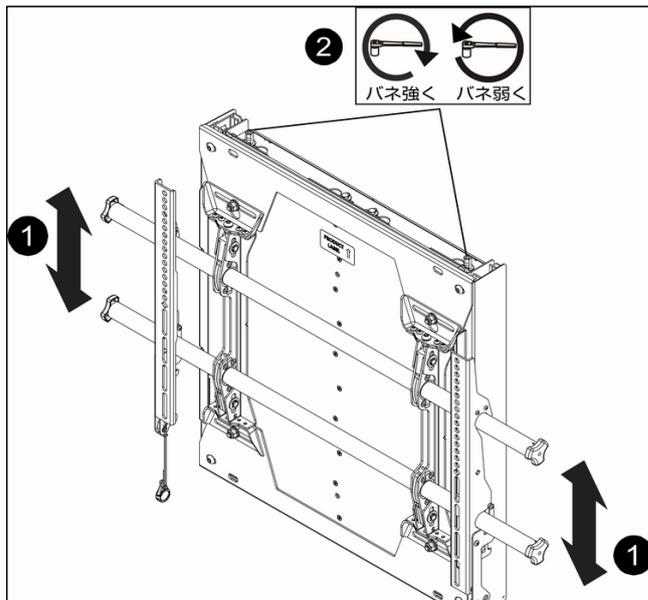
【図-15】

▲ 注：ケーブルに簡単にアクセスできるように、画面は最初に一定の傾斜状態を保つ位置になる「サービスモード」にセットされます。

2. 画面とレールを希望の表示位置に調整します。
3. ケーブルを壁とレールの間に配線します。

>注意：ピンチポイント！指、手、ケーブルをエッジ部分や突起などのピンチポイント領域に近づけないでくださいようにしてください。

4. プルコードを下に引っ張り、壁に向かって内側に押し込むようにして、ブラケットを固定方向にしてください。



【図-16】

■調整

■高さ調整-ヘッドアセンブリ

1. ヘッドアセンブリの高さを手で調整することにより、高さを上下に調整できます。(図16を参照)

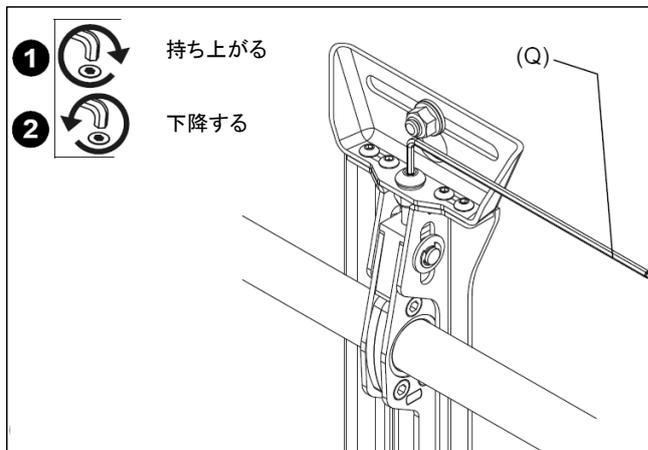
2. 1/2 "ソケットレンチを使用して、バネの張力を増減します。
ネジを時計回りに回すとバネが強くなり張力が上がり、反時計回りに回すとバネが弱くなり張力が下がります。

ディスプレイを取り付けた状態で張力を調整して、どの高さにも動かしてもディスプレイ位置がちょうどバランスよく釣り合うように調整してください (図16を参照)

■壁掛けブラケットのロール/高さ調整

▲ 注：高さ調整壁ブラケットでは、+ 1/2 "の調整が可能です。

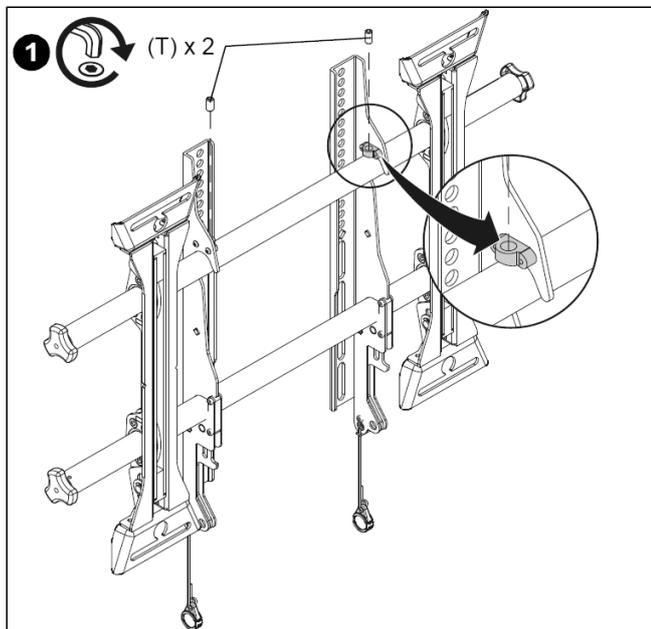
1. 右に回すと（締める方向）画面の片側が持ち上げます。(図17を参照)
2. 左に回すと（緩める方向）画面が下降します。



【図-17】

■インターフェイスブラケットの固定 (必要に応じて)

- 1.各インターフェイスブラケットに1つの3 / 8-16 x 3/4"止めネジ (T) を使用して、ディスプレイインターフェイスブラケットをマウントレールにロックします (図18を参照)。

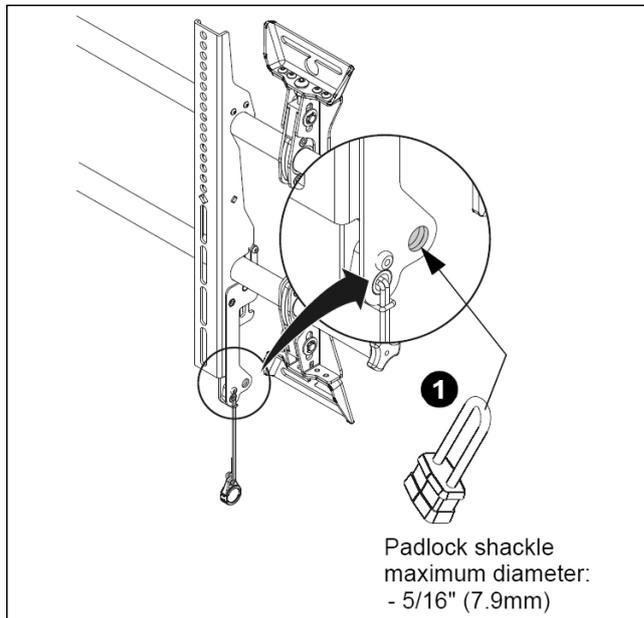


【図-18】

■ロック mounting (必要に応じて)

- 1.安全を確保するために、南京錠 (付属していません) をインターフェイスブラケットに追加します。(図19を参照)

⚠ 注 : 南京錠の最大シャックル直径は7.9mmです。



【図-19】

<http://www.avc.co.jp/>